

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成19年4月18日提出
【計算期間】	第2期 (自 平成18年2月1日 至 平成18年7月31日)
【発行者名】	プロスペクト・レジデンシャル投資法人
【代表者の役職氏名】	執行役員 岡田 壮夫
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内二丁目2番1号
【事務連絡者氏名】	プロスペクト・レジデンシャル・アドバイザーズ株式会社 取締役財務部長 依田 康
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目2番1号
【電話番号】	03-5221-8080 (代表)
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1. 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成18年10月16日付提出の有価証券報告書の記載事項のうち、一部の事項に訂正の必要が生じたので、本訂正報告書を提出するものです。

2. 【訂正事項】

_____の部分は訂正箇所を示します。

(訂正事項1)

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【投資法人の概況】

(1) 【主要な経営指標等の推移】

① 主要な経営指標等の推移

<訂正前>

第2期(自 平成18年2月1日 至 平成18年7月31日)

総賃貸可能面積 101,135

<訂正後>

第2期(自 平成18年2月1日 至 平成18年7月31日)

総賃貸可能面積 100,135

2【投資方針】

(1) 【投資方針】

② 本投資法人の成長戦略

(イ) 成長戦略

b. 外部成長

<訂正前>

(iii) 株式会社新日本建設との提携

本投資法人及び資産運用会社は、株式会社新日本建設との間で、同社が開発する賃貸住宅向けマンションの供給を受けることについて平成18年6月1日付で業務提携契約(パイプライン・サポート契約)を締結しています。本投資法人は同契約により、株式会社新日本建設又は第三者が保有し又は開発する不動産関連資産に関して、同社より当該不動産関連資産又はその売却に関する情報の提供を受けます。また、情報提供を受けた後に資産運用会社が本投資法人による当該不動産関連資産の購入を希望する場合には、一定の期間、売買契約の締結に向けて誠実に協議するものとされています。

<訂正後>

(iii) 株式会社新日本建物との提携

本投資法人及び資産運用会社は、株式会社新日本建物との間で、同社が開発する賃貸住宅向けマンションの供給を受けることについて平成18年6月1日付で業務提携契約(パイプライン・サポート契約)を締結しています。本投資法人は同契約により、株式会社新日本建物又は第三者が保有し又は開発する不動産関連資産に関して、同社より当該不動産関連資産又はその売却に関する情報の提供を受けます。また、情報提供を受けた後に資産運用会社が本投資法人による当該不動産関連資産

の購入を希望する場合には、一定の期間、売買契約の締結に向けて誠実に協議するものとされています。

(訂正事項2)

第二部【投資法人の詳細情報】

第4【関係法人の状況】

1【資産運用会社の概況】

(1)【名称、資本金の額及び事業の内容】

(ハ) 経理の概況

b. 最近の事業年度における損益の概況

<訂正前>

	第2期 自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日
営業収益	273,100千円
経常損失	8,319千円
当期純損失	8,029千円

<訂正後>

	第2期 自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日
営業収益	273,100千円
経常利益	8,319千円
当期純利益	8,029千円